

社会資本総合整備計画（事後評価）

- ①滋賀県における集中的な総合的治水対策の推進（防災・安全）（重点）
- ②滋賀県における総合的治水対策の推進（防災・安全）

滋賀県土木交通部
流域政策局

- (1) : 滋賀県の河川について
- (2) : 社会資本総合整備計画について
- (3) : 事業の進捗状況、評価指標の目標値の実現状況※ 1
- (4) : 事業効果の発現状況※ 1
- (5) : 主要な事業に関する事項※ 1
- (6) : まとめと今後の方針

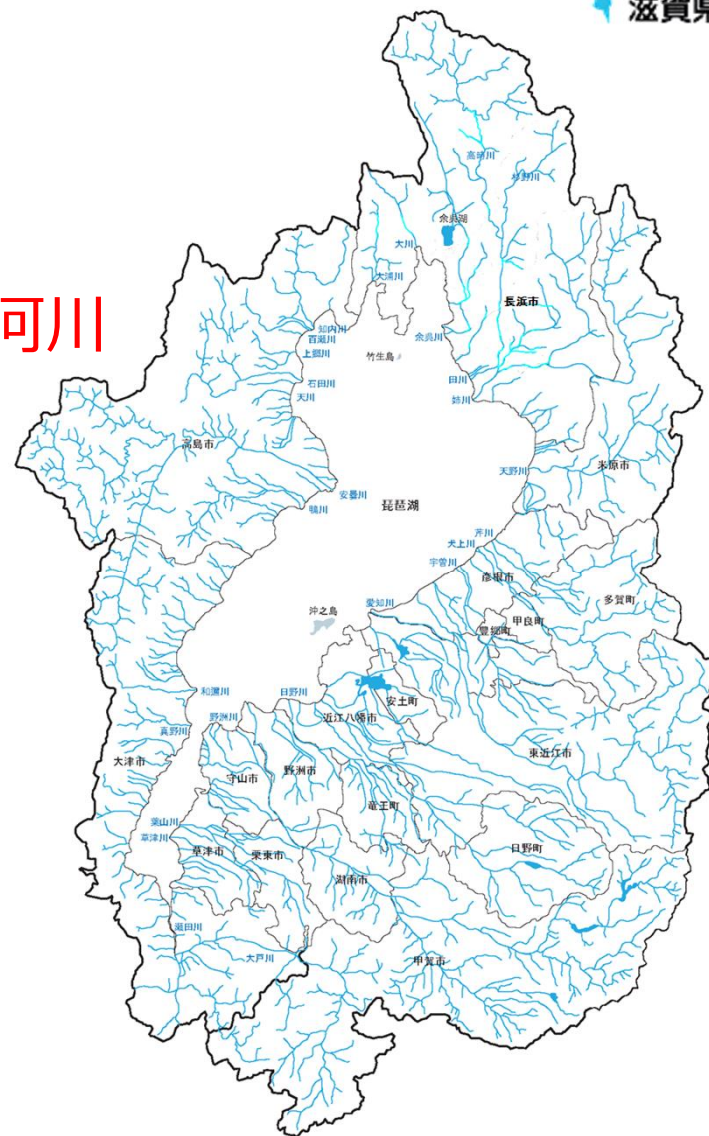
※ 1 . 滋賀県公共事業等計画評価実施要項第 3 - 2

(1)：滋賀県の河川について



○滋賀県の一級河川について

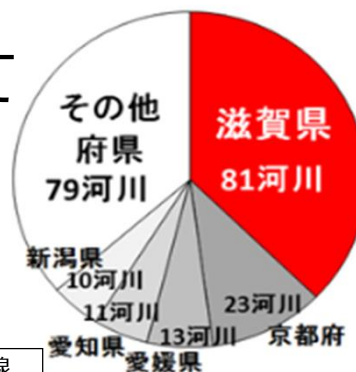
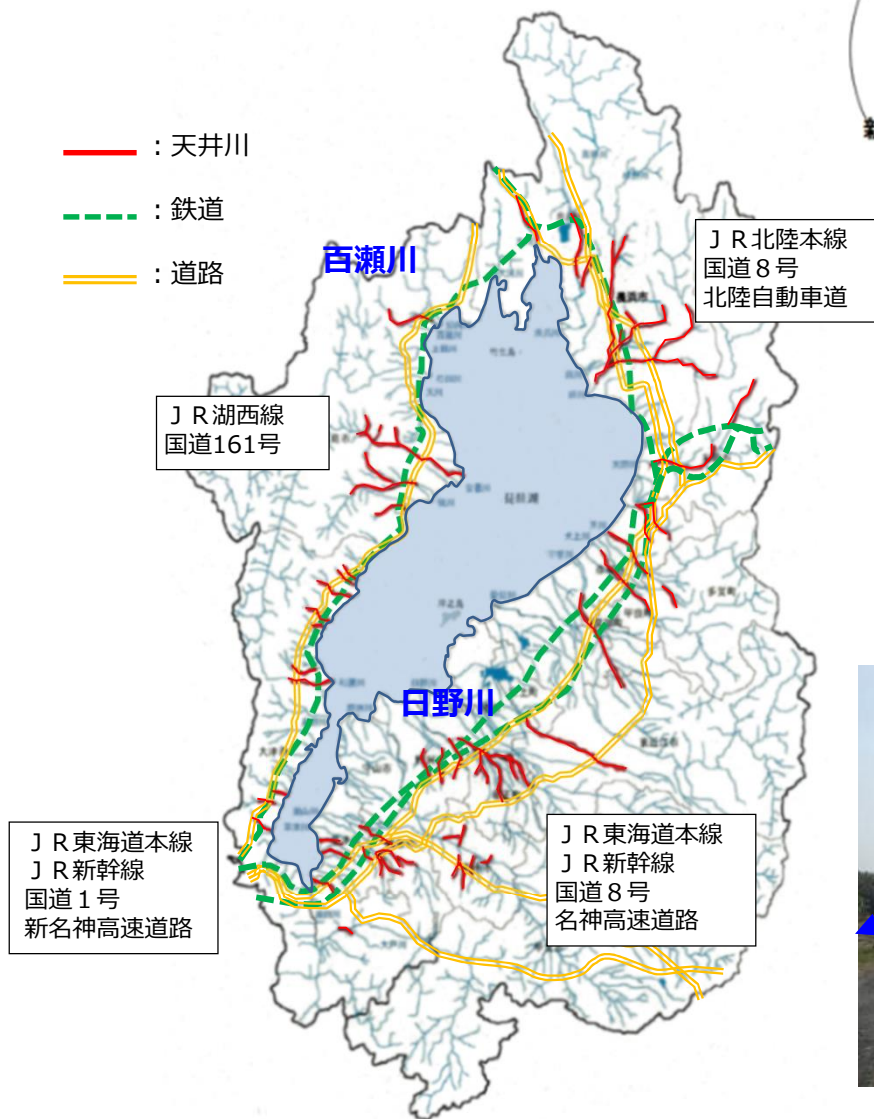
- 滋賀県の一級河川 **509河川**
- 直接琵琶湖に流入する河川 **117河川**
- 流路延長 **約2,321 km**
- ほとんどの河川は、流路延長が **50 km未満**と短く、急峻
- 水源山地からの土砂流出が多く、下流域で堆積し、**天井川**の形状



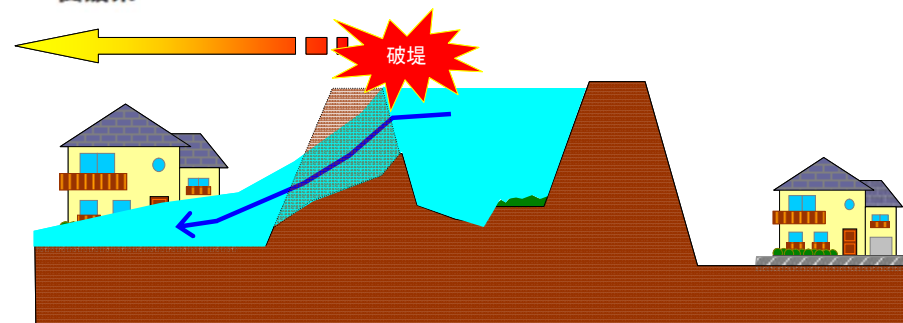
(1)：滋賀県の河川について



○滋賀県の一級河川について



滋賀県の天井川の数 全国1位
県内に81河川（全国では217河川）
平成24年度 国交省調査結果より



※破堤した場合、甚大な被害が発生する可能性

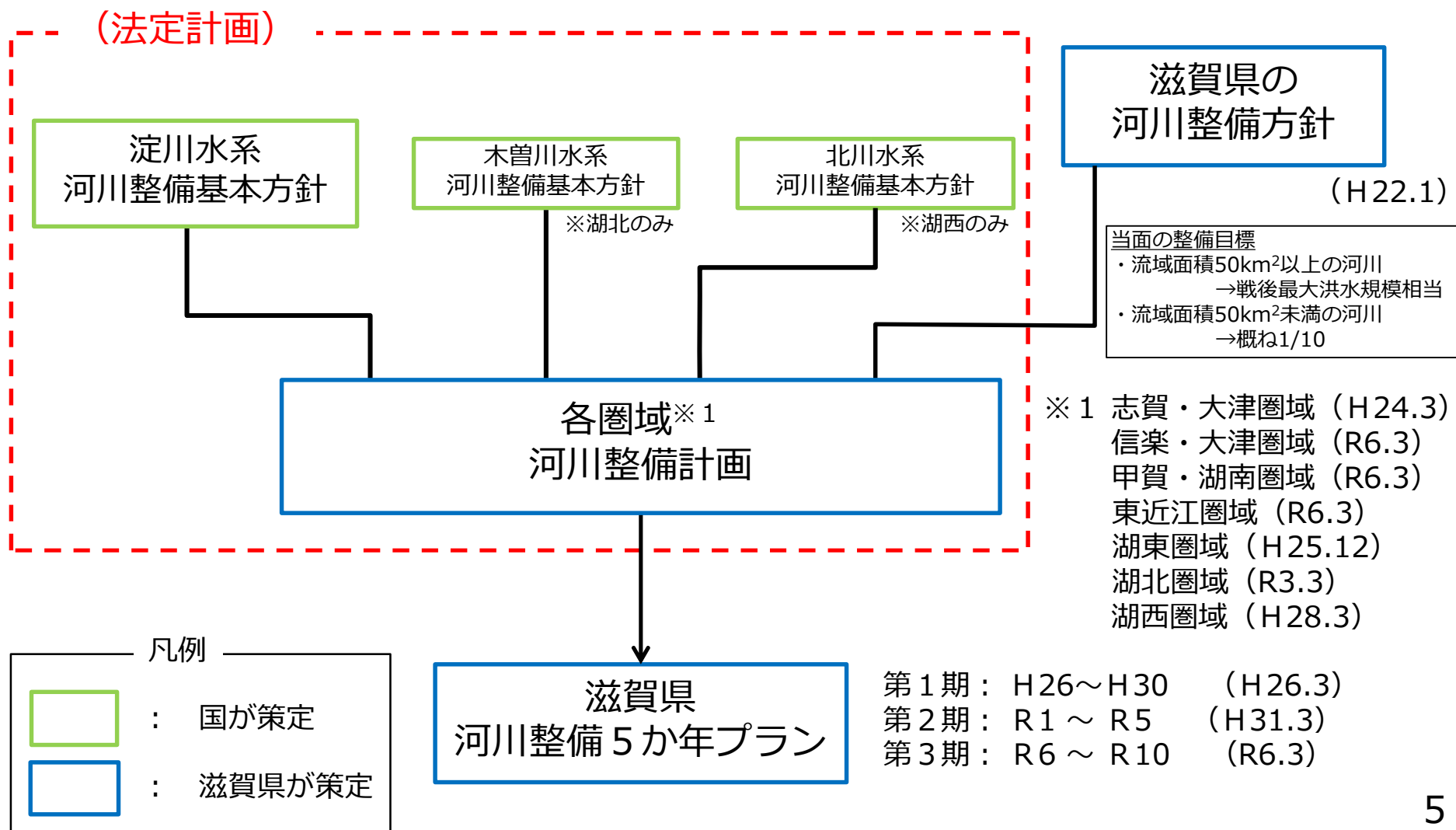


天井川の例

(1)：滋賀県の河川について



○滋賀県における河川計画の体系



(2)：社会資本総合整備計画について



計画名 ①「**滋賀県における集中的な総合的治水対策の推進（防災・安全）（重点）**」

計画期間

令和2年度～令和6年度（5年間） ※令和4年度に中間評価を実施

計画目標

異常豪雨等による浸水被害リスクの増大に対し、安心安全な県民生活を確保するため、総合的な治水対策を推進する。

成果目標

1. 洪水を安全に流すための基幹的対策として、合計2,980mの河道整備（※）
【指標】整備目標の規模による河川整備延長（m）
2. 想定される浸水被害を486ha解消
【指標】想定される床上浸水被害が解消される面積（ha）

（※）整備河川について

葉山川（中ノ井川）、金勝川、日野川、長命寺川（蛇砂川）、八日市新川、姉川・高時川、鴨川（八田川）、野洲川（杣川）、守山川、余呉川、百瀬川、米川、草津川、大戸川、落合川

(2)：社会資本総合整備計画について



計画名 ②「滋賀県における総合的治水対策の推進（防災・安全）」

計画期間

令和2年度～令和6年度（5年間） ※令和4年度に中間評価を実施

計画目標

異常豪雨等による浸水被害リスクの増大に対し、安心安全な県民生活を確保するため、総合的な治水対策を推進する。

成果目標

1. 洪水を安全に流すための基幹的対策として、合計1,100mの河道整備（※）
【指標】整備目標の規模による河川整備延長（m）
2. 県民にとってより利便性の高い情報提供システムへの機能向上
【指標】機能向上項目数（項目）
 - 浸水警戒区域の指定を行うべき50地区のうち、累計20地区の「水害に強い地域づくり」の計画策定・共有、浸水被害警戒区域の指定を完了
【指標】浸水警戒区域指定地区数（地区） ⇒ 令和3年度から別計画で実施
3. 水害に「そなえる（地域防災力）対策」として、水害危険性の周知
【指標】洪水浸水想定区域指定対象の一級河川洪水浸水想定区域図の作成率（%）

（※）整備河川について

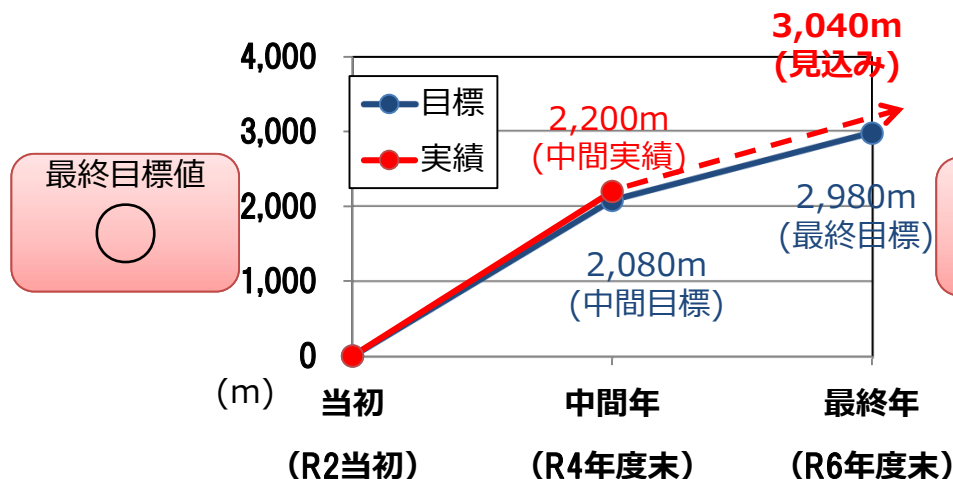
真野川、愛知川（不飲川）、犬上川、長浜新川、田川、常世川、藤ノ木川、高橋川、北川、大川、天野川 7

(3) : 事業の進捗状況、評価指標の目標値の実現状況



①「滋賀県における集中的な総合的治水対策の推進（防災・安全）（重点）」

指標 1 河川整備延長 (m)

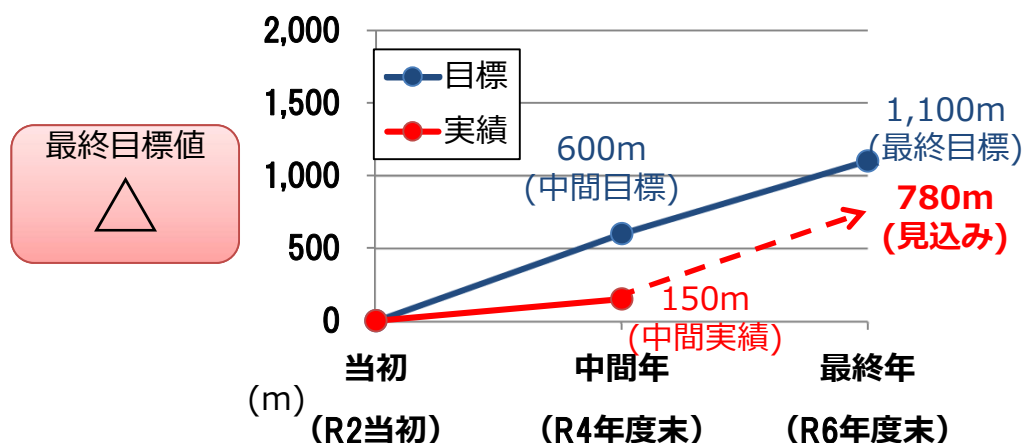


指標 2 想定される床上浸水被害の解消面積 (ha)



②「滋賀県における総合的治水対策の推進（防災・安全）」

指標 1 河川整備延長 (m)



【要因】

- ・ 用地取得の難航により進捗が遅延していたが、令和5年11月に**用地取得が完了**。
- ・ 河川整備の進捗を図っていく。

(3) : 事業の進捗状況、評価指標の目標値の実現状況

指標 2 情報提供システムの機能向上項目数 (項目)

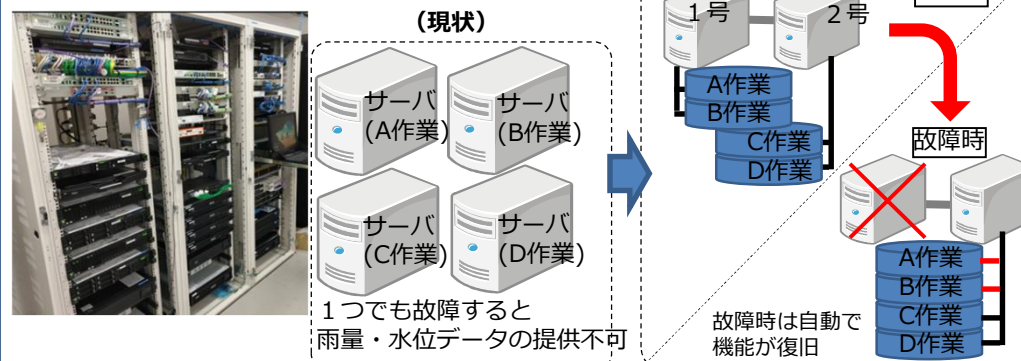
	R2年度当初	R4年度末	R6年度末
目標	0項目	6項目	10項目
実績	0項目	7項目	10項目

※見込み

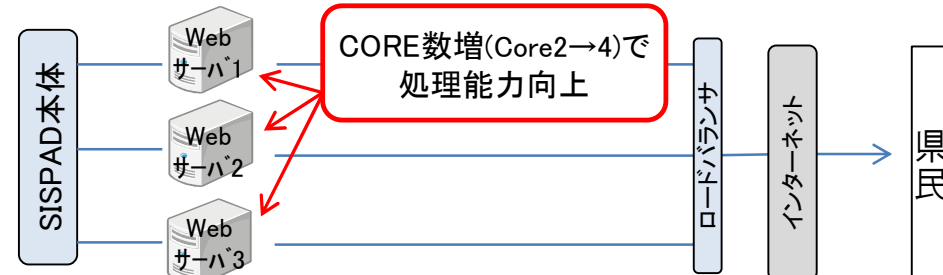
実施項目	
①テレメータ補間運用機能の追加	R4済
②「川の防災情報」(国システム)へ雨量・水位データ配信	R4済
③水位局(テレメータ以外の箇所)の水位データ配信	R4済
④水位上昇通知システム機能の追加	R4済
⑤水位予測機能向上	R4済
⑥雨量、水位グラフ画像処理機能改良(サーバアクセス集中対策)	R4済
⑦警戒レベル色表示改良(様々な色覚の人への対応)	R4済
⑧基幹サーバの冗長化(二重化)	最終目標値
⑨メール配信機能の追加	
⑩水位データ配信機能の追加	

⑧基幹サーバの冗長化【実施済】

県庁の基幹サーバを仮想化し冗長化(二重化)を図る。



上記に加え、インターネット公開用サーバを強化し、処理能力向上を図る。

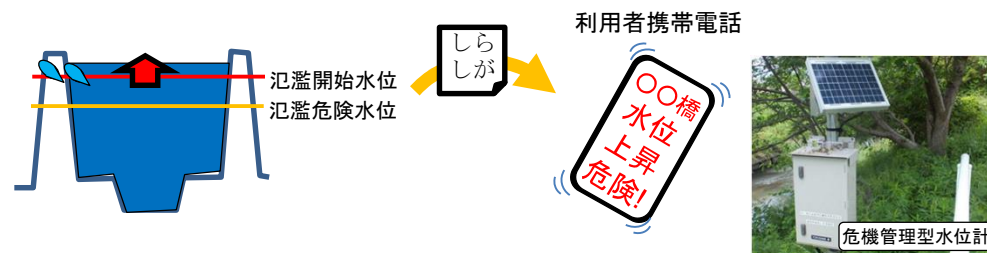


システムイメージ図



⑩水位データ配信機能の追加

危機管理型水位計のデータも、通常の水位計同様にしらがで水位を通知できるようにする。



※危機管理型水位計：洪水時の観測に特化した水位計。
水位が低い時は、1日1回 朝6時に水位を観測し、
水位が上昇すると10分ごとの観測に切り替わります。

(3) : 事業の進捗状況、評価指標の目標値の実現状況

指標 3 洪水浸水想定区域図作成率 (%)

最終目標値



	R2年度当初	R4年度末	R6年度末
目標	3%(15河川)	3%(15河川)	100%(458河川)
実績	3%(15河川)	3%(15河川)	100%(458河川)

※見込み

※R6年度作成、R7年度市町調整、公表予定

令和元年東日本台風では、水害リスクの空白域において浸水被害が多発したことを受け、水防法の一部が改正（令和3年7月15日施行）された。

既作成の**15**河川（洪水予報河川・水位周知河川）に加え、住宅等の防護対象のある**443**河川を加えた**458**河川について洪水浸水想定区域図を作成し、浸水リスクの空白域の解消を目指すもの。

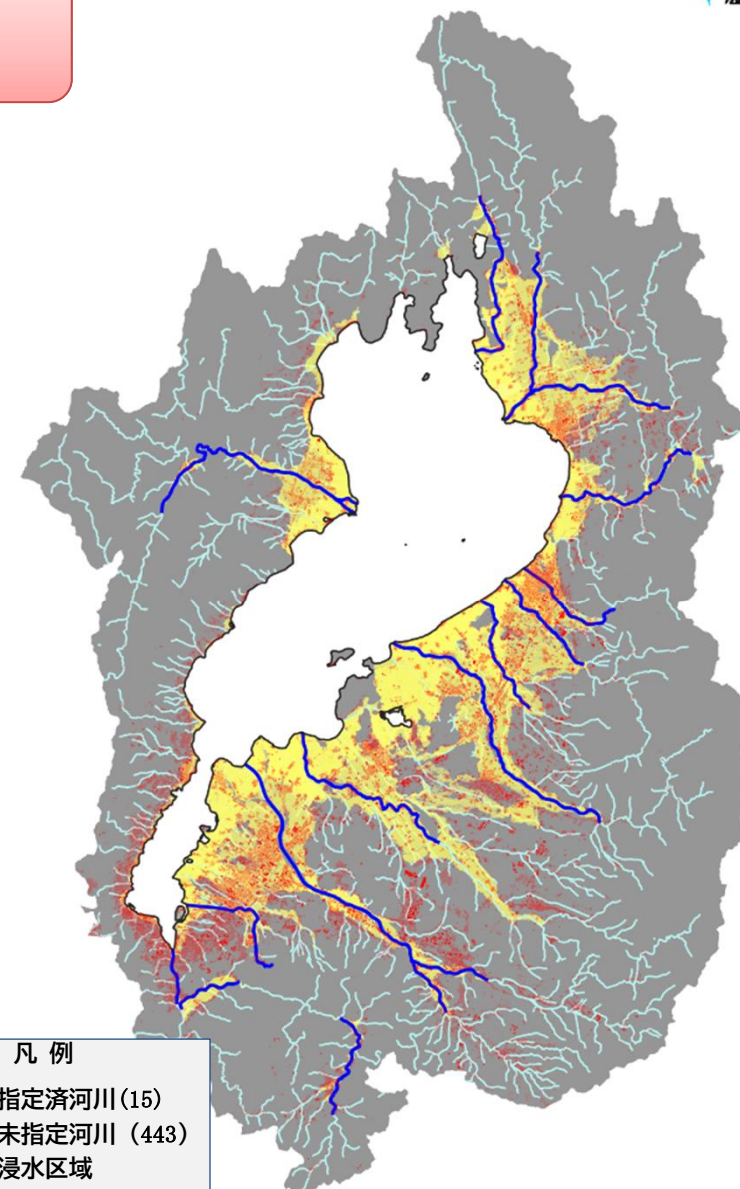
既作成河川（計**15**河川）

洪水予報河川

姉川、高時川、日野川、野洲川上流、杣川、琵琶湖

水位周知河川

余呉川、姉川（洪水予報河川と重複）、天野川、芹川、犬上川、宇曽川、愛知川、草津川、大戸川、安曇川



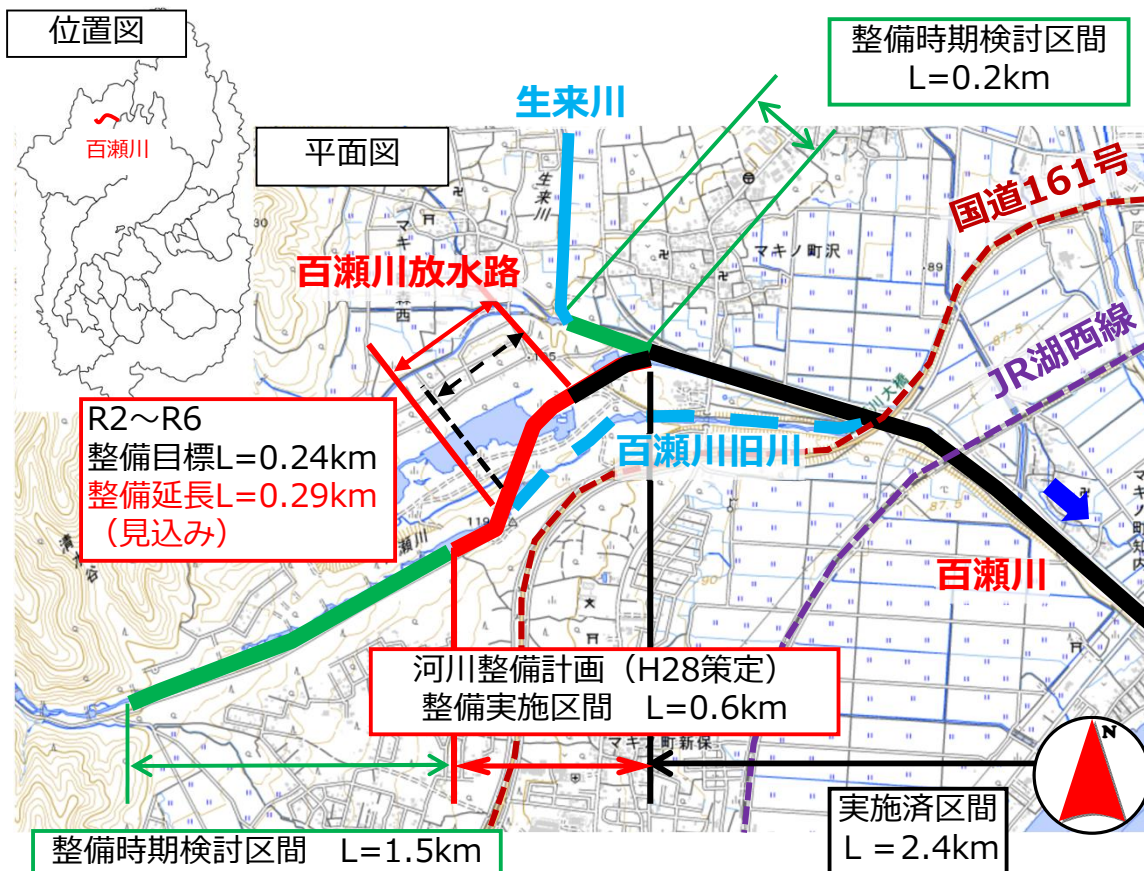
凡 例

- 指定済河川(15)
- 未指定河川 (443)
- 浸水区域
- 住宅等の防護対象

(4) : 事業効果の発現状況

事業概要

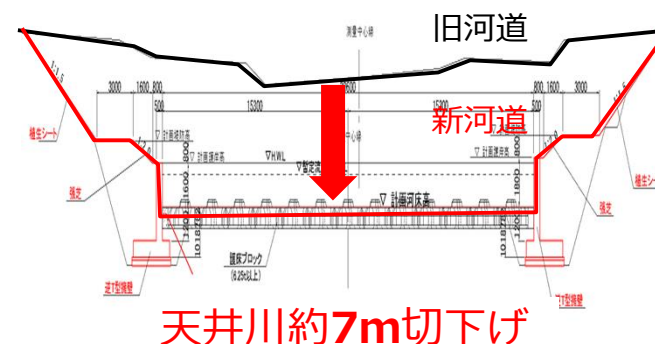
- ▶ 淀川水系百瀬川は、野坂山地に源を発し、生来川と前川の支川を合わせ、旧マキノ町を流下し琵琶湖に注ぐ、延長約12.0km、流域面積20.2km²の一級河川。
- ▶ 昭和36年第2室戸台風により、浸水被害が発生。
- ▶ 放水路整備および河床の切り下げによる河積の拡大を実施し、整備計画規模である1/10相当の洪水に対して浸水被害解消を図る事業である。



計画概要

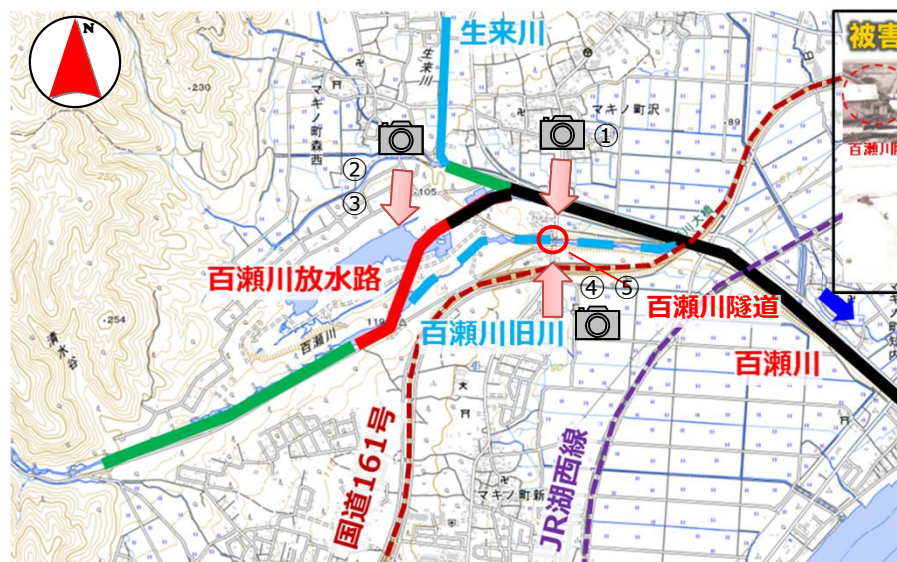
- 河川名 : 百瀬川
- 整備箇所 : 高島市
- 整備内容 : 掘削、護岸、放水路整備等
- 計画延長 : L=0.6km

標準横断面図

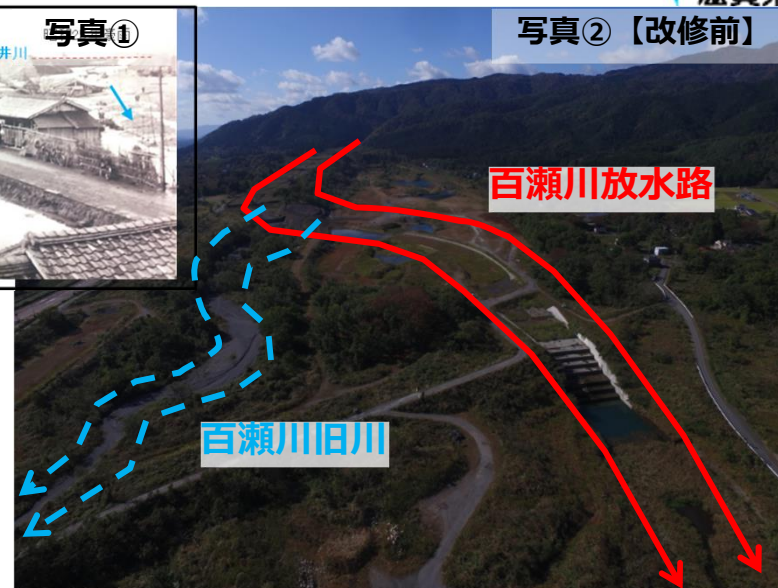


(4) : 事業効果の発現状況

- 放水路整備および河床の切り下げにより、治水安全度が向上



写真①

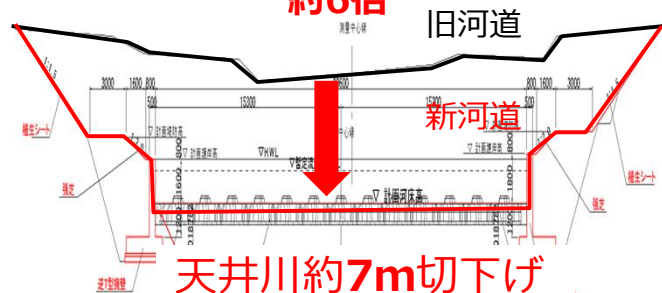


写真②【改修前】

事業効果

- ・ 流下能力が上がり、治水安全度が向上
- ・ 天井川の解消

約20m³/s ➡ 120m³/s
約6倍



写真④

隧道が解消



写真⑤

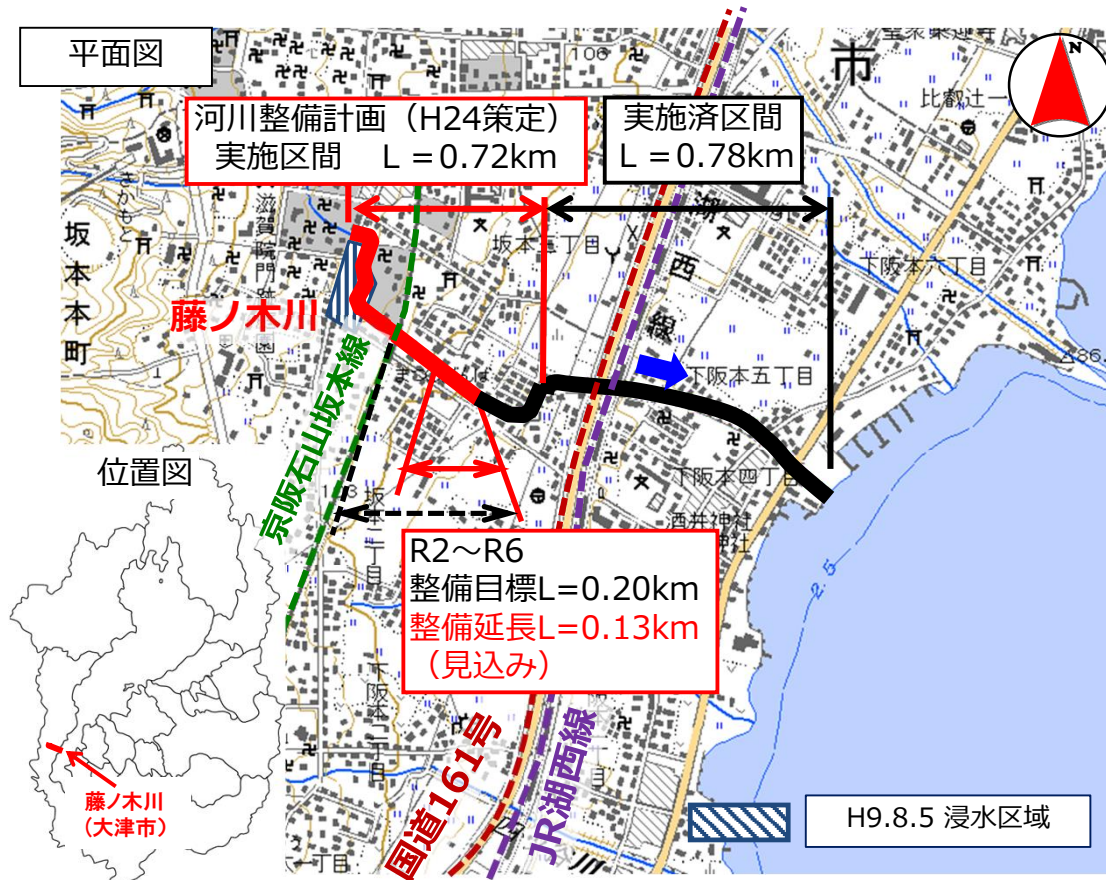


写真③【改修後】

(4)：事業効果の発現状況

事業概要

- 淀川水系藤ノ木川は、大津市の市街地を流下し、京阪石山坂本線、国道161号を横断して琵琶湖に注ぐ、延長約2.4km、流域面積1.8km²の一級河川。
- 平成9年洪水により、浸水被害が発生。
- 河床の切り下げによる河積の拡大を実施し、整備計画規模である1/10相当の洪水に対して浸水被害解消を図る事業である。

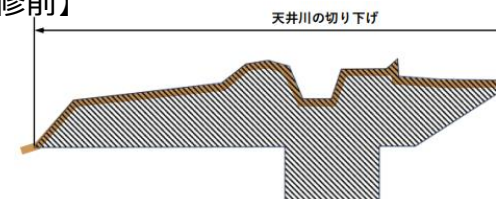


計画概要

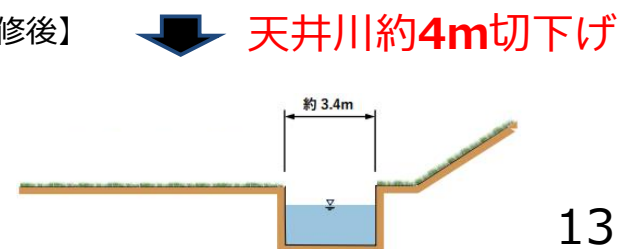
- 河川名 : 藤ノ木川
- 整備箇所 : 大津市
- 整備内容 : 掘削、護岸、橋梁架替等
- 計画延長 : L=0.72km

標準横断面図

【改修前】



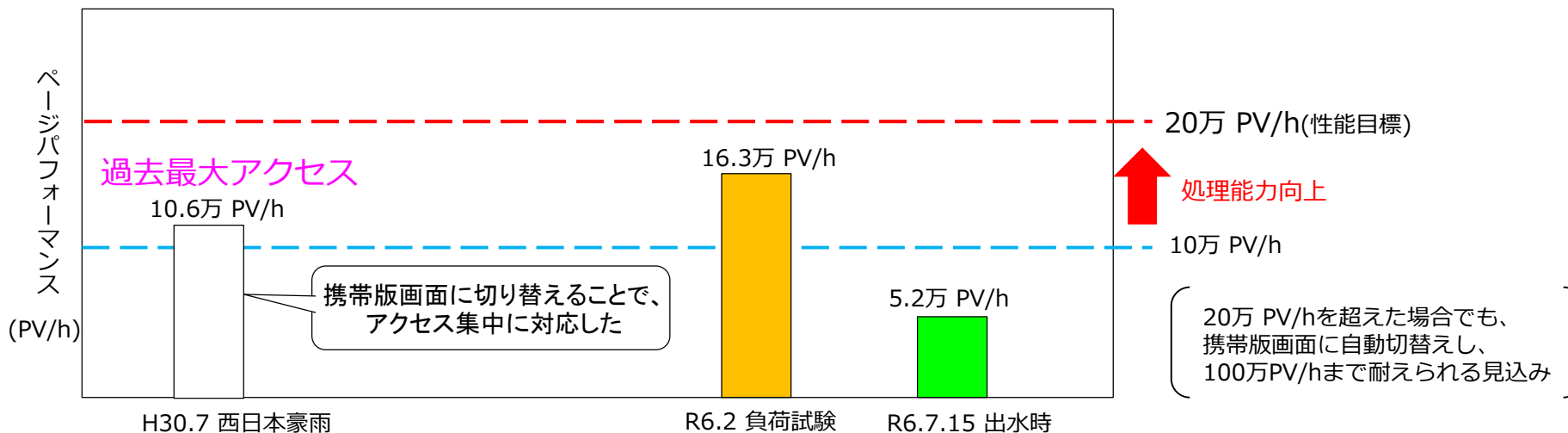
【改修後】



(4)：事業効果の発現状況

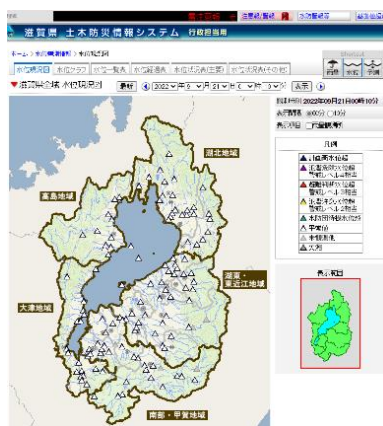
- 滋賀県土木防災情報システムサーバの機能向上により、アクセス集中時の処理能力が向上

サーバの冗長化（二重化）や強化により、県民にとってより利便性の高い安定的な情報提供を図る。



- 県側webサーバが万が一停止したとしても、国の「川の防災情報」へ河川水位情報を配信することにより、安定的な情報提供が可能となった

情報配信を複数のシステムで行うことで、県民にとってより利便性の高い安定的な情報提供を図る。



河川水位 100/104局
雨量 116局(全局)
河川防災カメラ 66局(全局)

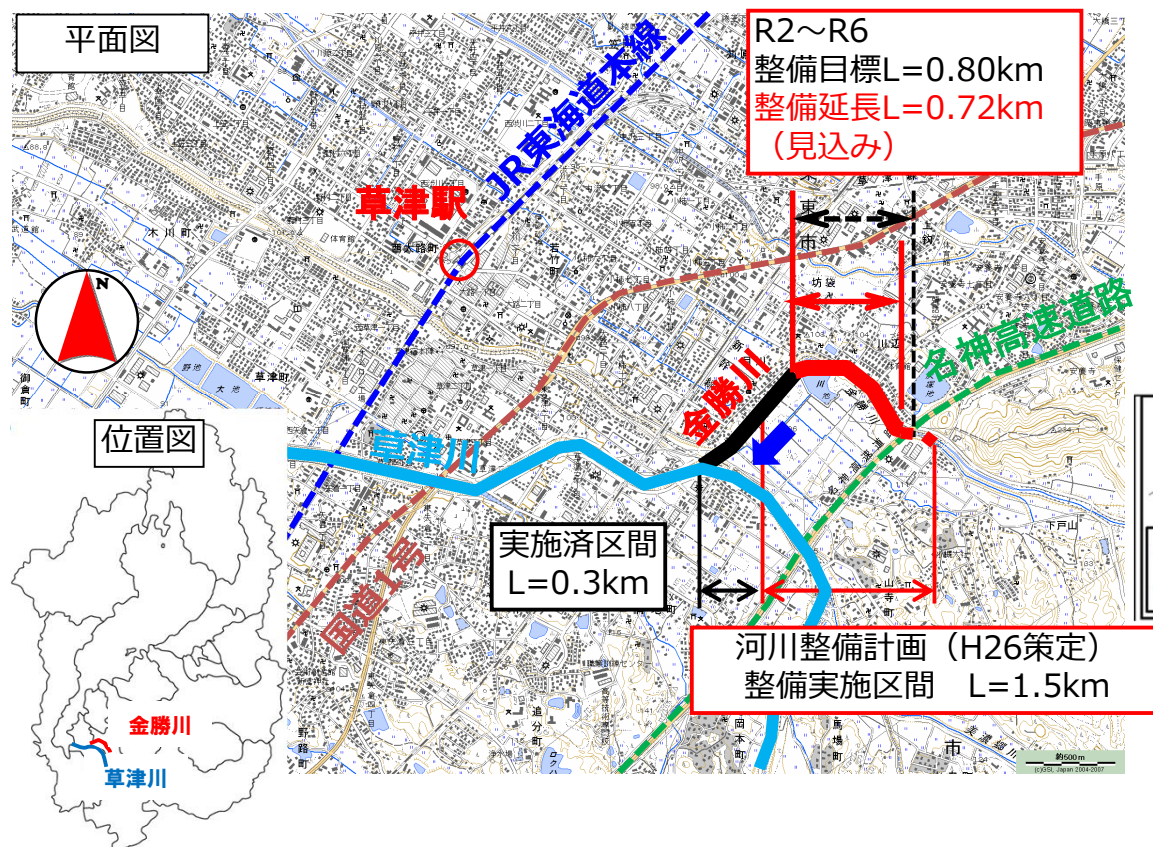
で実施

水位局4局については、追加掲載申請中

(5) : 主要な事業に関する事項

事業概要

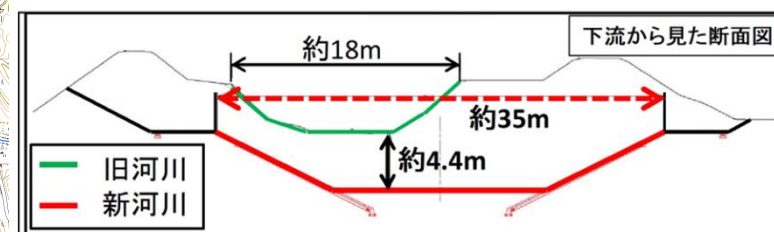
- 淀川水系金勝川は、栗東市を流下し名神高速道路を横断して草津川に注ぐ、延長約10.4km、流域面積20.9km²の一級河川。
- 平成25年洪水により破堤し、浸水被害が発生。
- 河床の切り下げによる河積の拡大を実施し、整備計画規模である1/10相当の洪水に対して浸水被害解消を図る事業である。



計画概要

- 河川名 : 金勝川
- 整備箇所 : 栗東市
- 整備内容 : 掘削、護岸、橋梁架替等
- 計画延長 : L=1.5km

標準横断面図

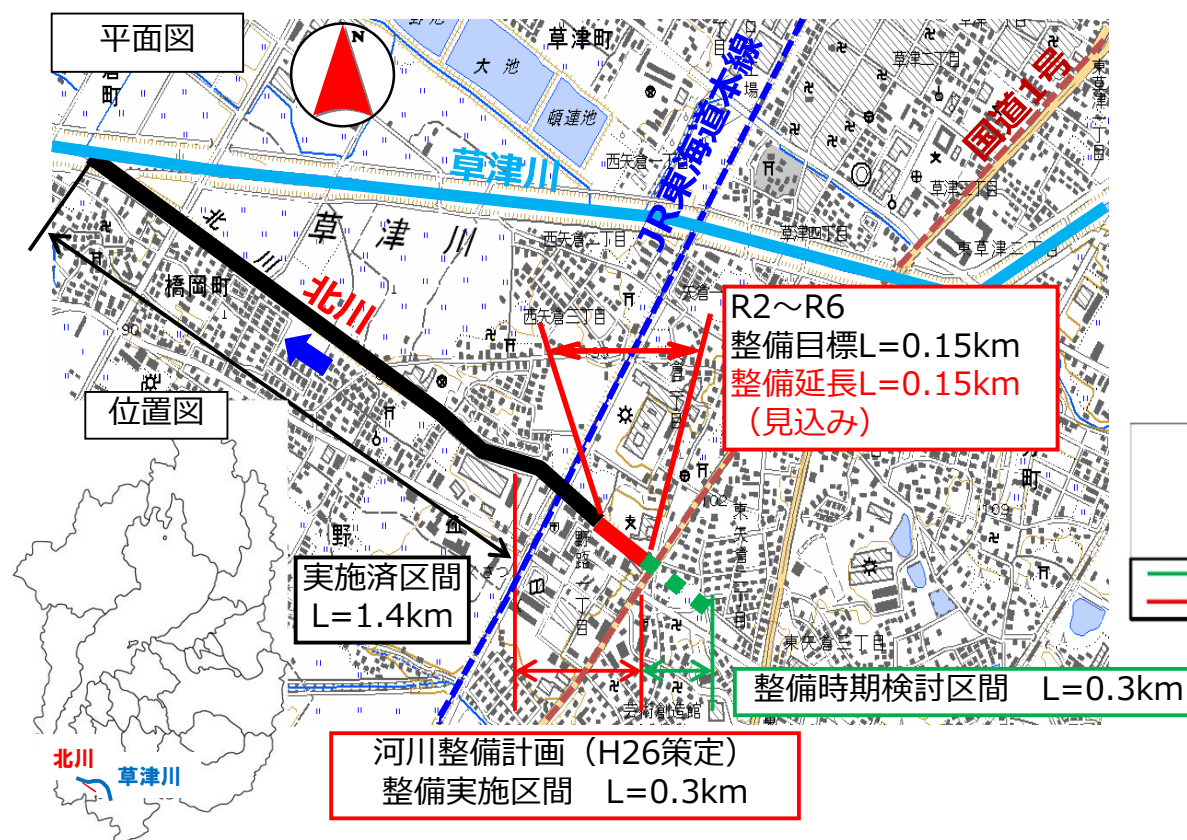


天井川約4m切下げ

(5) : 主要な事業に関する事項

事業概要

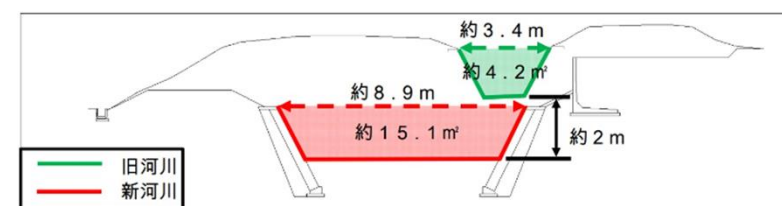
- 淀川水系北川は、草津市の中心市街地を流下し国道1号、JR東海道本線を横断して草津川に注ぐ、延長約2.2km、流域面積3.0km²の一級河川。
- 平成9年洪水による浸水被害が発生。
- 河床の切り下げによる河積の拡大を実施し、整備計画規模である1/10相当の洪水に対して浸水被害解消を図る事業である。



計画概要

- 河川名 : 北川
- 整備箇所 : 草津市
- 整備内容 : 掘削、護岸、捷水路整備等
- 計画延長 : L=0.3km

標準横断面図



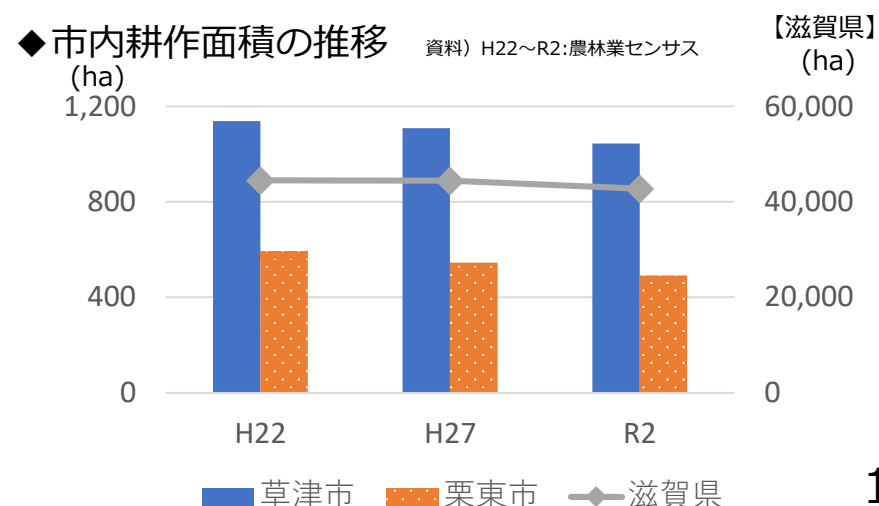
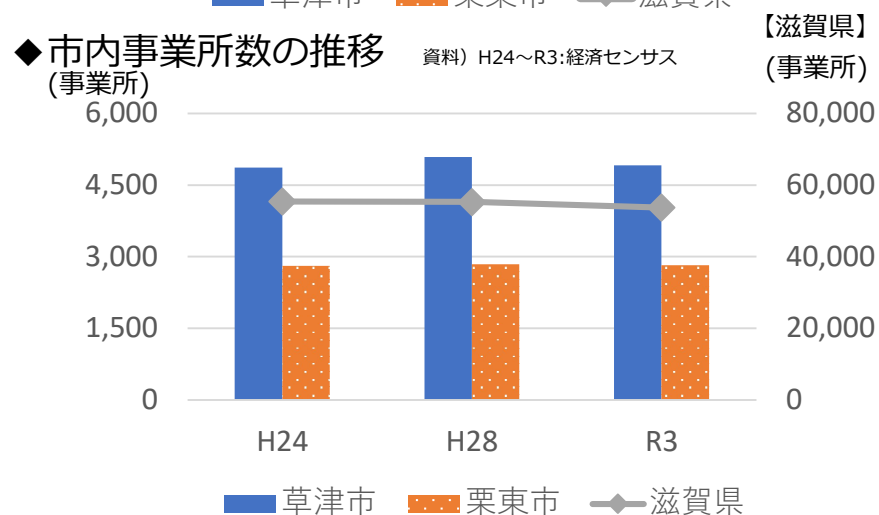
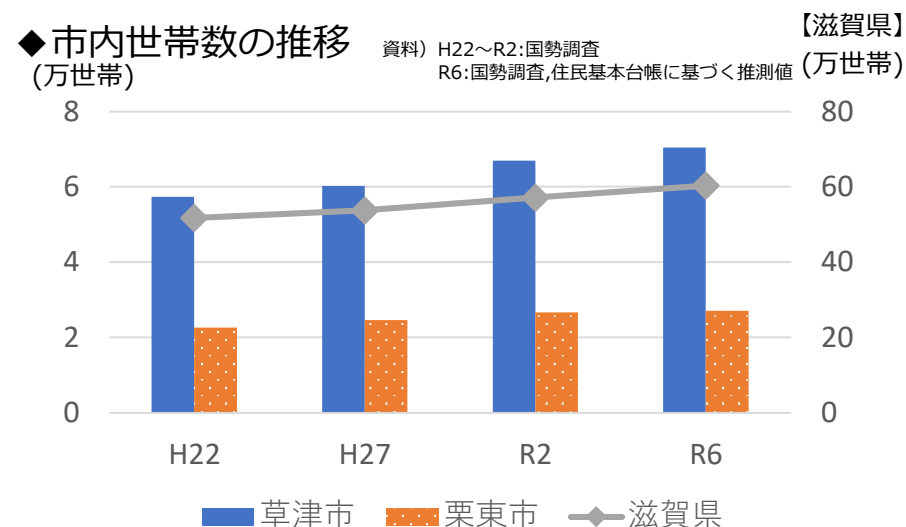
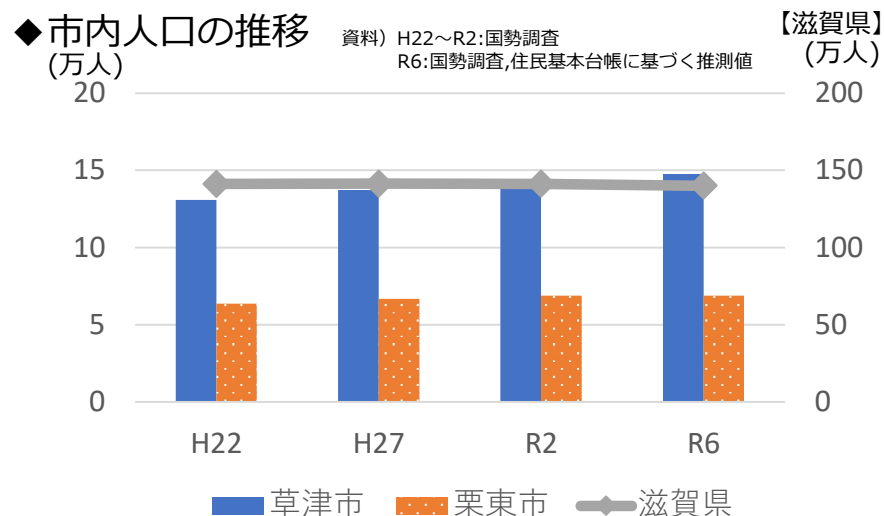
天井川約2m切下げ

(5) : 主要な事業に関する事項



■ 事業を巡る社会経済情勢等の変化

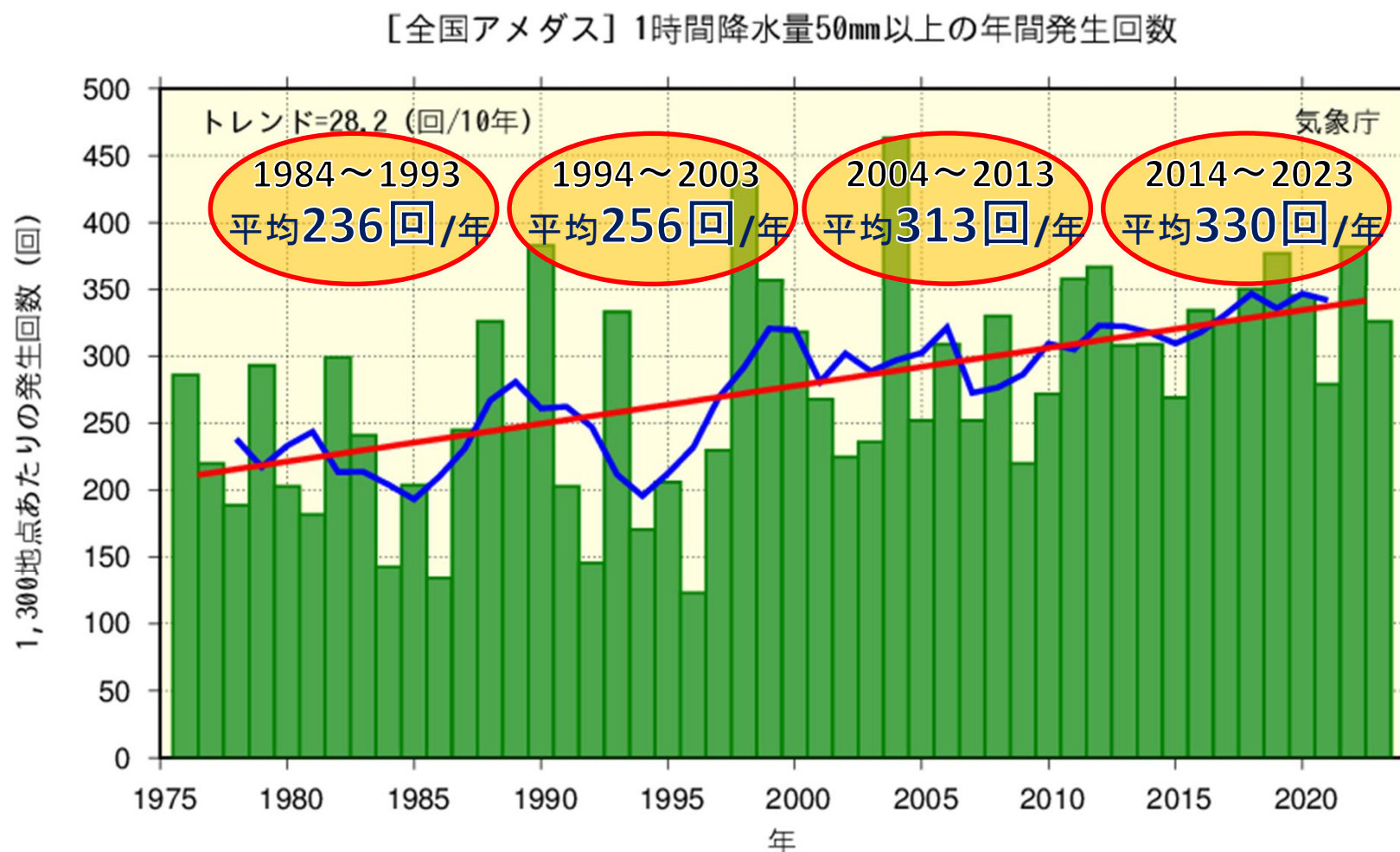
- 県内の人口、世帯数、事業所数、耕作面積について確認した結果、人口、世帯数が増加傾向にあり、引き続き事業の必要性は高い。



(5)：主要な事業に関する事項

■費用対効果分析の要因の変化

- 気候変動により災害が激甚化・頻発化してきている。
- 本県の河川整備率は約56%であり、引き続き未改修区間の整備を推進していく必要がある。



(5)：主要な事業に関する事項



■費用対効果分析の要因の変化

項目		金勝川	北川
便益(B)	直接被害＋間接被害	6,257億円	588億円
	残存価値	0.6億円	0.1億円
	合計(総便益)	6,258億円	589億円
費用(C)	事業費	92億円	92億円
	維持管理費	10億円	11億円
	合計	102億円	103億円
費用便益比(B/C)		61.4	5.7

※表中の費用及び便益は全て現在価値換算した値である。

費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

(5)：主要な事業に関する事項



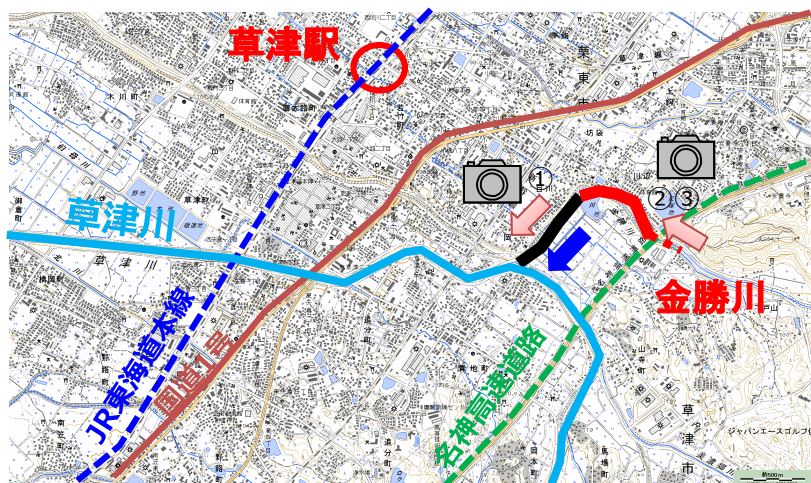
■コスト縮減および代替案立案等の可能性

- 河道掘削で発生した土砂を、大型土のう製作や工事用進入路の仮設材、近隣の他事業の盛土に再利用するなど、コスト縮減による事業進捗の促進を図る。
- 今後も、施工手順・施工時期について検討する他、必要に応じて最新技術を導入することでコストの縮減に努める。
- 代替案として放水路案などを検討したが、両河川とも市街地内を流下する天井川の切り下げであり、用地等の制約が大きいことから、現川改修を採択。

(5)：主要な事業に関する事項

■ その他必要と考えられる事項

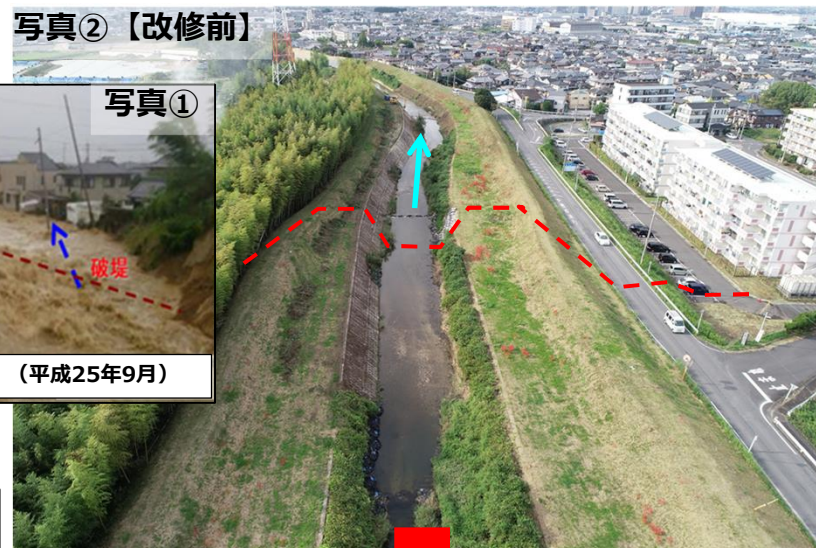
- 河積の拡大と天井川の切下げにより、過去と同規模の洪水に対して越水を回避して浸水を防止



写真②【改修前】

写真①

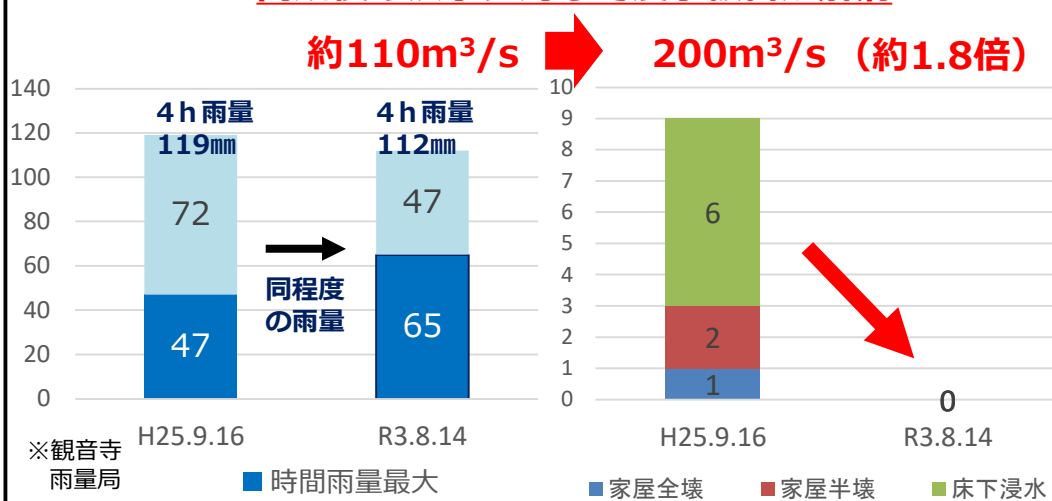
(平成25年9月)



写真③【改修後】

事業効果

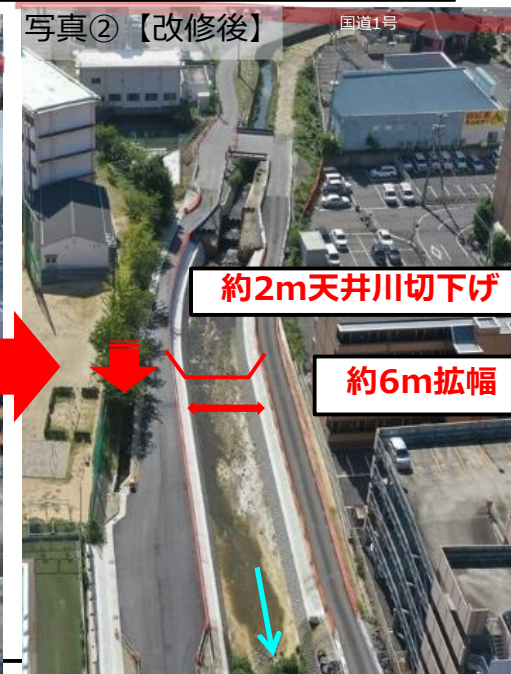
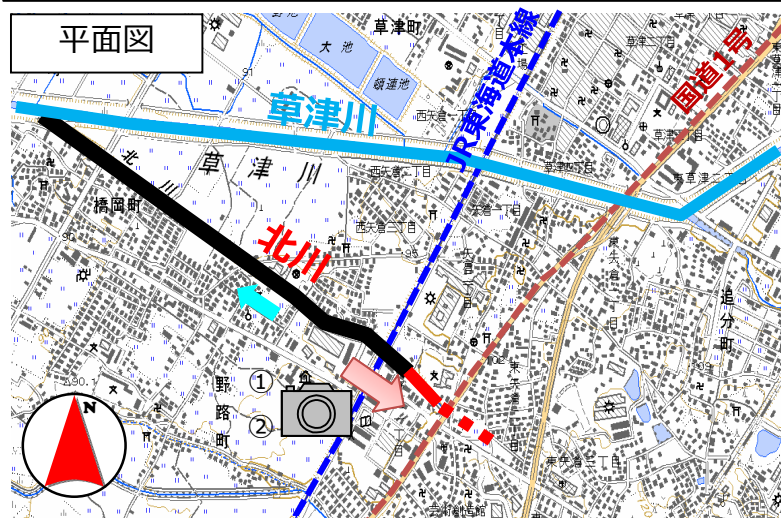
- ・ 流下能力の向上および天井川の解消
- ・ 同規模の洪水に対して浸水被害が解消



(5) : 主要な事業に関する事項

■ その他必要と考えられる事項

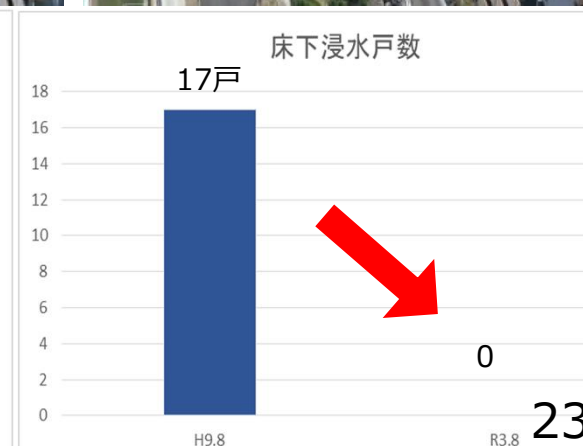
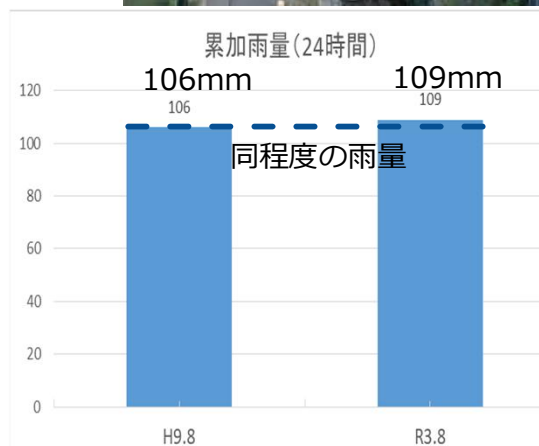
- 河積の拡大と天井川の切下げにより、過去と同規模の洪水に対して越水を回避して浸水を防止



事業効果

- ・ 流下能力の向上および天井川の解消
- ・ 同規模の洪水に対して浸水被害が解消

約6m³/s ➡ 30m³/s
(約5倍)



23

(6)：まとめと今後の方針

①「滋賀県における集中的な総合的治水対策の推進（防災・安全）（重点）」

■まとめ

項目		河川整備延長	想定される床上浸水被害の解消面積
事業の進捗状況 目標値の実現状況	目標	2,980m	486ha
	実績 (見込み)	3,040m	486ha
	評価	達成	達成
事業効果の発現状況		治水安全度の向上	
主要事業	金勝川	事業の必要性、事業効果を確認	

■今後の方針

- 各圏域の「河川整備計画」および「滋賀県河川整備5か年プラン」に基づき、引き続き、安全で安心して暮らしていくことのできるよう、河川改修を進める。

(6)：まとめと今後の方針

②「滋賀県における総合的治水対策の推進（防災・安全）」

■まとめ

項目		河川整備延長	情報提供システムの機能向上数	洪水浸水想定区域図の作成率
事業の進捗状況 目標値の実現状況	目標	1,100m	10項目	100%
	実績 (見込み)	780m	10項目	100%
	評価	※未達成	達成	達成
発現状況 事業効果の		治水安全度の向上	安定的な情報提供	— (作成が100%完了すると、 水害リスク情報の空白地帯 の解消に寄与)
主要事業	北川	事業の必要性、事業効果を確認		

※用地取得の難航により進捗が遅延していたが、令和5年11月に用地取得が完了。
 ※河川整備の進捗を図っていく。

■今後の方針

- 各圏域の「河川整備計画」および「滋賀県河川整備5か年プラン」に基づき、引き続き、安全で安心して暮らしていくことのできるよう、河川改修を進める。
- ハード・ソフトのあらゆる手段を総合的かつ計画的に実施し、強くしなやかな県土と県民生活の実現を目指す。